

ネパール・カトマンズ 視察研修

国内での外国人材のニーズが高まっている中、KIP 会では人材活用の可能性などを探るため、海外への就労を目指している人材を多く抱えるネパールへの視察研修を実施します。

研修では、ネパール人材の教育現場や日系企業、現地企業の視察の他、経済機関のブリーフィングを通して現地の最新事情を把握します。この機会に、現地でしか得られない生の情報に触れてみませんか。

【旅行日程】 2025年12月1日(月)～5日(金) 3泊5日

【参加対象】 KIP会会員、ネパールの人材活用、ネパールの人材活用・ビジネス展開に意欲的な県内中小企業等

【旅行代金】 おひとり様 231,000円(予定) ※燃油サーチャージ等別

※上記金額は、9月22日までにお申込の場合の金額となります。

9/23以降のお申込については、航空券の空き状況により料金変動する場合がありますのでお問い合わせください。

◆旅行代金に含まれるもの

往復航空券代(エコノミークラス)、宿泊費(1人部屋)、食事代(朝昼夕、各3回)、専用バス、現地ガイド費、添乗員費用

◆旅行代金に含まれないもの

燃油サーチャージ、空港施設使用料、海外空港諸経費、出入国税^{※1}、海外旅行保険料、ビザ申請に係る費用、食事の際の飲料代、wifiなどの通信代、等

※1 燃油サーチャージ等の費用は、金額が変動しますので、手配完了時の料金にてご請求となりますこと、あらかじめご了承ください。

【参考料金】(9/3時点)

*燃油サーチャージ:21,000円 その他税等:23,970円

*ビジネスクラス利用の場合の金額:450,000円(予定)

【最少催行人数】 10名 申込が10名に満たない場合は、視察研修は中止いたします

【申込方法】 以下URLよりお申込ください。

<https://www.kipc.or.jp/topics/seminar-event/kipmember-nepal-mission2025/>

※KIPにて申し込み確認後、旅行取扱会社である株式会社いい旅より渡航に関する申込書、旅行条件書をお送りいたします。

<主 催>

公益財団法人神奈川産業振興センター KIP会 工業部会
(KIP会事務局担当)

<協 力>

総務部企画広報課 電話 045-633-5149 担当：徳田・上野
公益財団法人かながわ国際交流財団

<旅行取扱>

株式会社いい旅 東京都港区芝4-3-7 エムジー田町ビル4階
電話：03-6275-1548 担当：福室



Nepal

スケジュール(予定)		
日程	移動	内容(工程)
12月1日 (月)	羽田空港 ↓ カトマンズ空港	10:10 羽田空港発(キャセイパシフィック航空 CX543) ✈ 14:20 香港空港着 →19:00 香港空港発(CX603) ✈ 22:00 カトマンズ空港到着 ホテルへ
12月2日 (火)	カトマンズ	午前 : 経済団体・経済機関のブリーフィング 午後 : 教育機関訪問
12月3日 (水)	カトマンズ	午前 : 政府機関訪問 午後 : 日系企業視察
12月4日 (木)	カトマンズ カトマンズ空港	午前 : 現地企業視察 午後 : 市場環境視察 20:00 夕食後、空港へ移動 23:15 カトマンズ発 (キャセイパシフィック航空 CX640) ✈
12月5日 (金)	成田空港	6:00 香港空港着 →9:05 香港空港発 14:10 成田空港着(キャセイパシフィック航空 CX504) ✈ ～おつかれさまでした～

*視察先(予定) : 理系大学、日本語学校など教育機関、経済団体、日系企業、現地企業、政府機関

*宿泊ホテル(予定) : 5つ星クラス(Hotel Radisson またはHotel Dusit Princess)

*現地の事情等によりスケジュールを変更、取消する場合がございますので予めご承知おきください

注意点

◆ネパールビザの取得が必要です

ご希望の方は、旅行会社に代行申請を依頼可能です。(ビザ申請料+手数料 12,000円程度)

◆パスポート

パスポートの残存期間は滞在日数+6カ月、パスポート査証欄の空白ページが2ページ以上あることが必要です

取消料

申込をキャンセルする場合、旅行会社の規定により以下の取消料が発生いたします

旅行開始の30日～3日前……………旅行代金の20%

旅行開始日の前々日又は前日……………旅行代金の50%

旅行開始日(当日の旅行開始前)……………旅行代金の50%

無連絡不参加及び旅行開始後……………旅行代金の100%

ネパールってどんな国？

ネパールは人口約3,000万人の若年層が多い国で、労働年齢人口が6割以上を占めています。主要産業は農業と観光業で、近年は繊維やITなどの分野も注目を集めています。国内の雇用機会が限られているため、約600万人が海外で働いており、海外送金はGDPの約30%を占める重要な収入源となっています。

教育制度も整っており、理工系やIT分野で優秀な人材が育っているほか、勤勉で協調性が高く、日本人と価値観が近いとされます。日本の治安の良さや語学習得のしやすさも、ネパール人材の就労先としての魅力を高めています。

